

尾張版



杜若・顔
杉藤万里子
春陽会

ニュース、情報は下記へ
社会部
052-231-1650・5919
Eメール
shakai@chunichi.co.jp

一宮 総局 〒491-0851
一宮市大江1-13-13
0586-72-4545 Fax72-5035
津島通信局
0567-28-2157 Fax28-2158
稲沢通信部
0587-32-8800 Fax23-8035
江南通信部
0587-54-4001 Fax54-9622
蟹江通信部
0567-95-3022 Fax95-3000
春日井支局
0568-81-2036 Fax81-2797
大山通信局
0568-61-2612 Fax61-2613
小牧通信局
0568-72-1177 Fax72-6530

中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052-221-0800 Fax221-0819
Eメール

center@chunichi.co.jp
掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ

供養のかけこみ寺
 葬儀 供養 樹木葬
 孫切り供養
大法寺
 気軽にお話ししましょう
0567-28-7319
 愛西市稲葉町江頭10番地
 樹木葬 大法寺 検索

一宮出身・藤田さん サラリーマンと両立 ボクシング 夢の日本王座

市長に報告 「多くの人の希望になりたい」



一宮市出身のプロボクシング選手藤田炎村さん(38)が、四月二十六日に東京・後楽園ホールであった「日本スーパーライト級王座決定戦」でKO勝ちし、新王座に輝いた。普段はサラリーマンとして働きながら「二足のわらじ」で戦い続ける藤田さんは「一人でも多くの人の希望になりたい」とさらなる飛躍を誓う。

(猿渡健留)

藤田さんは二〇一八年六月にプロテストを受けて合格し、十一月にデビュー。戦績は十一戦十勝一敗を誇る。一八年四月にリクルートに入社し、東京で不動産営業職を務める傍ら、仕事が終わった後の短い時間で厳しい練習を重ね、日本の頂点に立った。試合に負けた時、ボクシング

チャンピオンベルトを手にとり飛躍を誓う藤田選手(一宮市役所で)

に集中するため会社を辞めようと上司に相談したこともある。その時、上司に声をかけられた。「藤田の頑張りを見て、夢を見させてもらっている」。この一言で藤田さんは再起し、今も心の支えになっている。ボクシングを始めたのは、大学生になってから。市立今伊勢中学校、清林館高校の出身で、当時は特にスポーツをしていなかった。でも、ボクシングにはもともと興味があった。きっかけは幼少期に見た映画「ロッキー」。命懸けで戦う登場人物たちを見て「なぜそこまでするのか」と不思議に思いながらも、腕二つで戦うシンプルなボクシングの世界に、どこかロマンを感じていた。高校時代は、テレビや動画配信サイトでボクシングの試合を熱心に見た。だが、競技に挑戦することはなかった。「ボクシングをやりたいとは思ったけど、この世界で生きていけるとは思えなかった」と当時の心境を振り返る。早稲田大に入学した後、ボクシング部に入った。楽しそうなおしゃべりもたくさんあったが、「ボクシングをやるなら今が人生最後のチャンス」と腹をくくった。懸命に練習に励んだが、四年生までレギュラーになれなかった。試合に出始めても、重要な場面でなかなか勝てなかったという。大学卒業後も競技を続けたのは、夢を語り合った同年代の学生たちが、就職活動を始めた途端に夢を諦めていく姿を見たからだ。就職と夢は二択なのか。自分はどっちもやってみよう。仕事とボクシングの両立を始めてすでに五年がたった。原点であるこの思いを胸に刻み、これからも両立を続けていく。今後の目標について、藤田さんは「まずはこのベルトを防衛すること。勝てないといわれているような選手にも挑戦して、乗り越えていきたい」と語った。「一宮が大好き」という藤田さんは八日、一宮市役所を訪れ、中野正康市長に勝利を報告した。中野市長は「これからも勝ち続けて、一宮の名を高めてほしい」とエールを送った。